

庄和地区公民館・庄和南公民館

◇運営の基本方針

地域住民の学習意欲を醸成するための学習機会を提供し、充実した人生を築くための生涯学習拠点となるよう環境を整える。また、庄和地区の連帯意識を高め、地域コミュニティづくりを進める。

◇重点施策

- 1 世代間交流と地域の連帯感を育む。
- 2 地域住民参画による自主的・自発的な事業活動を支援する。
- 3 各種団体、地域住民との協働による事業の展開を図る。

◇重点事業

- | | |
|------------|----------|
| 1 庄和地区市民大学 | 2 公民館まつり |
| 3 庄和地区体育祭 | 4 正風館音楽祭 |

庄和地区公民館

所在地 〒344-0116 春日部市大倉 3 0 7 番地 1

TEL 048-746-6666

FAX 048-746-6669

E-mail seifukan@city.kasukabe.lg.jp



庄和南公民館

所在地 〒344-0124 春日部市米崎 3 5 7 番地

TEL 048-745-3000

FAX 048-745-3002

E-mail s-nankou@city.kasukabe.lg.jp



職員	館長（兼務）	當間 正 恵
	主査（兼務）	鈴木 格
	主任（兼務）	城田 徹
	主任（兼務）	山崎 孝一
	主任（兼務）	吉田 健作
	主事（兼務）	佐藤 拓実（危険物取扱者）
	フルタイム（兼務）	杉山 卓
	フルタイム（兼務）	榎澤 智子
	フルタイム（兼務）	前島 浩子

事業名 マ	庄和地区市民大学	対象	一般	定員	21・22期 生32名		
ねらい	地域住民に多種多様な内容の学習をする機会を提供し、地域に貢献できる人材育成を図るとともに、交友範囲を広げてもらい、より有意義な生活を送ってもらうことを目指す。						
協力機関 及び団体	庄和地区市民大学運営委員会 庄和地区市民大学学友会	特色 位置づけ	重点事業 地域で活動できる 人材づくり	SDGs の目標 No.	4・11・17		
会場	庄和市民センター正風館 会議室・講義室 ほか	教材 資料等	講師持参等				
実施までの経過	1月下旬～ 広報 2月19日～ 入学受付 5月12日 開講式 ～2月2日 講座(原則毎週金曜日)	PR方法	公民館だより2月号・広報かすかべ ポスター・募集要項・チラシ ホームページ・入学説明会				
		受付方法	学費を添えて正風館窓口へ申込み				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男	女	合計	
回 数	総時間数			計	計		
5月12日(金)	13:00～16:00	開講式・オリエンテーション	説明	20	24	44	市民大学運営委員会
5月19日(金)	13:30～15:30	教育学科教養講座	講義	32	28	60	文教大学人間科学部 青山 鉄兵
5月26日(金)	13:30～15:30	社会学科郷土史講座	講義	17	25	42	春日部市文化財課 榎本 博
6月2日(金)	13:30～15:30	環境学科地球環境講座	講義	18	24	42	産業技術研究所 堀川 晴央
6月9日(金)	8:30～16:30	社会学科視察講座	見学	16	20	36	ガトーフェスタハラダ本社工場、浜沢栄一先生
6月16日(金)	13:30～15:30	教育学科教養講座	説明	21	24	45	市民大学運営委員会
6月23日(金)	10:00～14:00	芸術学科古典芸能鑑賞講座	鑑賞	18	22	40	国立能楽堂
6月30日(金)	13:30～15:30	教育学科ディベート講座 1	講義	18	24	42	文教大学人間科学部 青山 鉄兵
7月7日(金)	13:30～15:30	教育学科ディベート講座 2	講義	17	23	40	文教大学人間科学部 青山 鉄兵
7月14日(金)	13:30～15:30	教育学科ディベート講座 3	説明	18	24	42	市民大学運営委員会
7月21日(金)	13:30～15:30	教育学科ディベート講座 4	討論	28	41	69	文教大学人間科学部 青山 鉄兵
7月28日(金)	13:30～15:30	教育学科教養講座	説明	20	20	40	市民大学運営委員会
8月4日(金)	13:30～15:30	社会学科地方自治講座	講義	18	22	40	埼玉県文芸文化振興局 戸田川幸彦 計画課長 五十嵐 義典
9月1日(金)	13:30～15:30	健康学科健康一般講座	講義	18	20	38	筑波大学人文社会系 石塚 修
9月8日(金)	13:30～15:30	生活学科社会福祉講座	講義	18	22	40	社会福祉協議会 主幹 品川 雅嘉
9月15日(金)	13:30～15:30	産業学科体験視察講座	見学	17	20	37	造幣局さいたま支局
9月22日(金)	13:30～15:30	環境学科地球環境講座	講義	17	21	38	宇都宮大学 菱沼 竜男
9月29日(金)	13:30～15:30	健康学科スポーツ一般講座	体験	19	23	42	市民大学運営委員会
10月6日(金)	13:30～15:30	健康学科スポーツ一般講座	体験	21	25	46	学友会 グラウンド・ゴルフ部
10月20日(金)	13:30～15:30	芸術学科音楽鑑賞講座	鑑賞	17	22	39	すみだトリフォニーホール
10月27日(金)	10:00～13:00	生活学科給食講座	見学	17	22	39	春日部市給食センター
11月3日(金)	9:00～12:00	生活学科ボランティア講座	体験	18	22	40	NPO法人庄和ふる里を守る会
11月10日(金)	13:30～15:30	芸術学科美術鑑賞講座	鑑賞	15	22	37	国立新美術館
11月24日(金)	13:30～15:30	教育学科人権教育講座	講義	16	22	38	春日部市社会教育課 梅津 裕介
12月8日・9日(金・土)	9:00～13:00	生活学科家庭生活料理栄養講座	体験	25	30	55	岩井 孝夫
12月15日(金)	13:30～15:30	生活学科ボランティア講座	講義	5	30	35	宇都宮共和大学 陣内 雄次
12月22日(金)	13:30～15:30	教養学科教養講座	講義	10	50	60	文教大学人間科学部 二宮 雅也
1月12日(金)	13:30～15:30	教育学科教養講座	説明	18	23	41	市民大学運営委員会
1月19日(金)	13:30～15:30	健康学科健康一般講座	講義	20	27	47	埼玉県立大学 久保田 章仁
1月26日(金)	13:30～15:30	教育学科教養講座	発表	26	34	60	市民大学運営委員会
2月2日(金)	13:30～16:00	教育学科教養講座	発表	27	33	60	文教大学人間科学部 青山 鉄兵
31回	81時間			585	789	1,374	
企画運営上の工夫	学生同士が積極的にコミュニケーションできるよう、ホームルームを実施した。 県の出前講座などを活用し、低コストによる事業運営を図りながら、大学教授を講師に起用し、幅広い知識の習得を目指すカリキュラムとした。						
成果 参加者の 声 など	新型コロナウイルス対策も不要となり、従来通りのコミュニケーションが活発な市民大学の開催ができた。参加者からは「とても充実した講座内容だった」や「班ごとのコミュニケーションができて良かった」など好評だった。						
課題と展望	次年度も運営委員の皆様と協力して事業を運営していきたい。						

事業名 テーマ	2023庄和地区公民館まつり		対 象	一般		定員	各部屋の 定員
ね ら い	日頃、活動している団体・個人が、その活動の成果を広く地域の方々に鑑賞してもらい生涯学習の推進と交流を図り、活動成果の発表の機会、サークルと地域の方との交流の機会、活動に新しく参加する人を期待する機会を来場された市民に理解していただくことで、公民館活動の一層の発展を期す。						
協力機関 及び団体	庄和地区公民館まつり実行委員会 庄和地区市民大学学生会		特 色 位置づけ	重点事業		SDGs の目 標No	4.11.17
会 場	庄和市民センター正風館 全館		教 材 資料等	まつりプログラム 参加団体・個人の作品			
実施ま での経 過	3月10日	第1回実行委員会	PR方法	ポスター・チラシ 公民館だより(4、8月号) 安心安全情報メール			
	4月1日～28日	参加団体募集					
	5月13日	委員長会議	受付方 法	4月1日～4月28日までに庄和地区 公民館(正風館)窓口に参加料 2,000円を添えて申込み。			
	6月2日	第2回実行委員会					
	6月18日	第1回参加団体説明会					
	7月7日	第3回実行委員会					
	7月21日	第4回実行委員会					
	7月30日	第2回参加団体説明会					
	9月23日・24日	事業実施日					
	11月17日	第5回実行委員会					
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
9月23日(土)	9:00～16:30	公民館まつり 1日目	鑑賞・ 観覧	351	559	910	実行委員会 
9月24日(日)	9:00～15:30	公民館まつり 2日目		272	531	803	
2回	14時間			623	1,090	1,713	
企画運営上 の 工 夫	・実行委員会を中心とした参加団体による自主運営。 ・参加団体募集では正風館、庄和南公民館、南桜井駅、庄和総合支所にポスターを掲 示するほか、昨年度参加団体に積極的に声掛けをし、参加団体を募集した。 ・庄和地区内の小中学校に声掛けを桜川小学校、中野小学校、川辺小学校、葛飾中 学校、飯沼中学校、江戸川小中学校の作品展示をした。 ・埼玉県立庄和高等学校から合唱部及び吹奏楽部、美術部を招待した。 ・庄和地区市民大学学生会に「市民カフェ」を運営してもらった。 ・館内入口に希望制で各参加団体のポスターを貼った。						
成 果 参加者の 声 など	今年度は、コロナ禍以降初めて感染対策の制限無しで実施ができた。 また、来場者も昨年度と比べると217名増加した。 新しい試みだった埼玉県立庄和高等学校の発表や各小中学校の展示も好評だった。						
課題と展望	最後の実行委員会では実施時期や広報の周知不足など多数の問題点が挙げられた ため、次年度へ向けて改善していきたい。 今後も各団体の発表する機会や地域と参加団体の交流の場として盛大に実施をして いきたい。						

庄和地区 3

事業名 テーマ	令和5年度春日部市民体育祭 庄和地区体育祭		対 象	地区住民		定員	種目ごと
ね ら い	地域住民の交流・親睦を深めるとともに、体力向上による健康増進を図る。						
協力機関 及び団体	春日部市・庄和地区自治会連合会 春日部市コミュニティ推進協議会 庄和地区体育祭実行委員会		特 色 位置づけ	重点事業		SDGs の目 標No.	3・17
会 場	庄和総合公園多目的広場		教 材 資 料 等	プログラム 各競技参加者に賞品			
実施ま での 経 過	6月17日(土)	第1回実行委員会	PR方法	ポスター・チラシ 公民館ブログ 公民館だより(8月号・10月号)			
	7月15日(土)	第2回実行委員会					
	8月 1日(火)	公民館だよりにて広報	受付方法	区対抗種目及び団体対抗種目は、 事前に各団体でとりまとめのうえ受 付。 自由参加種目については、当日受 付。			
	8月19日(土)	区対抗種目説明会及び 抽選会					
	〃	第3回実行委員会					
	9月16日(土)	第4回実行委員会					
	〃	競技役員全体説明会					
	10月7日(土)	体育祭前日準備					
	10月8日(日)	体育祭当日					
	11月18日 (土)	第5回実行委員会					
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
10月8日(日)	8:30～15:00	8:30 開会式 9:00 競技開始 12:00 閉会式 12:30 片付け・開始 15:00 片付け・終了	競技	655	645		
1回	6時間30分			1300	1300		
企画運営上 の 工 夫	①庄和地区体育祭実行委員会は庄和地区自治会連合会・庄和地区スポーツ推進委員・庄和地区小中学校長会・スポーツ団体の代表を実行委員として構成し運営した。 ②区対抗種目抽選会・競技説明会や競技役員全体説明会などを行い、体育祭での役割分担を説明し、地域コミュニティの推進を図り、円滑な体育祭開催の準備・運営に努めた。 ③令和5年度春日部市民体育祭地区大会 開催ガイドラインに基づいて開催した。 ④規模縮小のため、競技種目の見直しを行った。						
成 果 参加者の 声 など	天候不良、新型コロナウイルス感染症による中止から5年ぶりの開催となり、小規模開催の条件下であったが、新競技「ホールインワンリレー」の導入などの工夫をし盛況に終えることができた。						
課題と展望	年々、参加する地区・自治会が減少しているため、次年度以降も競技種目や開催方法について、さらなる工夫を検討する必要がある。						

事業名 テーマ	第38回 正風館音楽祭		対 象	公民館利用団体 一般	定 員	502人	
ね ら い	音楽活動の成果発表の機会とし、市民との交流と学習意欲の喚起を促す。						
協力機関 及び団体	第38回正風館音楽祭実行委員会		特 色 位置づけ	重点事業	SDGs の目 標No.	4・11・17	
会 場	庄和市民センター正風館 1階 大ホール		教 材 資 料 等	プログラム			
実施ま での 経 過	5月 6月1日(木) ～30日(金) 7月12日(水) 9月14日(木) 10月1日(日) 10月11日(水) 10月17日(火) ～20日(金) 10月21日(土) 10月22日(日) 11月8日(水)	募集要項作成 公民館だより参加団体募 集 第1回 実行委員会 第2回 実行委員会 公民館だより 第3回 実行委員会 リハーサル 前日準備 当日 第4回 実行委員会	PR方法	・ポスター、チラシ ・公民館だより(6月号・10月号) ・市公式SNS ・春日部遊学フェスティバル参加			
			受付方法	団体は、6/1～30までに参加費 2,000円を添えて正風館窓口へ 観覧者は、当日受付(先着順502人 まで)			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計		合計
10月22日(日)	13:00～15:10	庄和地区内で音楽活動 に親しんでいる団体の成 果発表 	鑑賞	73	206	279	参加団体から選出さ れる実行委員による自 主運営形式 出演団体 かすみ草・オカリナトラ イアングル・青い桐合 唱団・ギターサークル アルハンブラ・アンサ ンプル・レリギエースア ンサンブル・庄和コー ルレインボー
1回	2時間10分			73	206	279	
企画運営上 の 工 夫	・実行委員会中心の自主運営を目指す。 ・参加団体から参加費を徴収し、運営費に充てる。 ・ポスター、チラシ、公民館だより、公民館ブログ、のぼり旗の掲示、市公式SNS、かすか べ遊学フェスティバルの参加などでPRを図る。						
成 果 参加者の 声 など	・出演団体7団体が出演した。 ・実行委員会で十分に意見交換し円滑に運営できた。 ・出演団体のアンケートでは、リハーサルからスムーズに運営できたことを良かったとす る声が多かった。 ・また参加者からのアンケートでは、バラエティに富んだ出演者で良かったとする声など があった。						
課題と展望	コロナ禍以前には15団体ほどが出演していた。昨年まで2年間のブランクがあったた め、その影響が未だ尾を引いているように思われる。しかし、参加者は昨年を大きく上 回り、回復の兆しもうかがえる。 38回目を迎え、伝統のある行事なので、新しい出演者や家族ぐるみの観覧者を呼び込 みながら継続したい。						

庄和地区 5

事業名 テーマ	井戸端サロン		対 象	おおむね50歳以上の方		定員	15名～20名程度	
ね ら い	定期的に開催し、高齢者の居場所づくり、仲間づくりを進める。							
協力機関 及び団体	井戸端サロンふれあい隊		特 色 位置づけ	高齢者コミュニティカフェ事業		SDGs の目標 No.	3・4・17	
会 場	庄和市民センター正風館 多目的室 他		教 材 資 料 等	講師持参				
実施までの 経 過	3月下旬	井戸端サロンふれあい 隊と打ち合わせ 順次実施 公民館だより掲載	PR方法	公民館だより掲載 ポスター掲示・チラシ配架				
	4月1日から 偶数月		受付方法	事前受付または当日受付 参加費 100円				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
				男	女	合計		
回 数	総時間数			計	計			
4月10日(月)	10:00～12:00	花見(庄和総合公園)	散策	2	15	17	株式会社パートナー	
4月24日(月)	10:00～12:00		懇談会	2	13	15		
5月8日(月)	10:00～12:00		懇談会	2	15	17		
5月22日(月)	10:00～12:00		懇談会	1	16	17		
6月12日(月)	10:00～12:00	バスで巡る 新札・渋沢栄一ツアー	散策	1	13	14		
6月26日(月)	10:00～12:00		懇談会	3	9	12		
7月10日(月)	10:00～12:00		懇談会	2	13	15		
7月24日(月)	10:00～12:00		懇談会	2	13	15		
8月28日(月)	10:00～12:00	健康出張イベント	講習	3	20	23		春日部警察署
9月11日(月)	10:00～12:00		懇談会	2	18	20		
9月25日(月)	10:00～12:00		懇談会	2	14	16		
10月23日(月)	10:00～12:00		懇談会	2	15	17		
11月13日(月)	10:00～12:00		防犯講座	講習	2	15	17	
11月27日(月)	10:00～12:00	クリスマス会 新年会	懇談会	1	16	17		
12月11日(月)	10:00～12:00		懇談会	5	20	25		
1月22日(月)	10:00～12:00		懇談会	1	11	12		
2月26日(月)	10:00～12:00		懇談会	2	16	18		
3月11日(月)	10:00～12:00	ひなまつり	懇談会	1	21	22		
20回	40時間			36	273	309		
企画運営上 の 工 夫	・井戸端サロンふれあい隊と共に企画運営を実施した。 ・地域の高齢者に様々な学習機会の場を提供すると共に参加者同士の交流を図った。 ・参加者の要望から施設見学を実施した。 ・活動費として参加費100円を徴収した。							
成 果 参加者の 声 など	・高齢者が興味関心のある講座を実施した。 ・年間通して事業を実施することができた。							
課題と展望	・今後もふれあい隊と協力しながら、事業を継続する。 ・新規の参加を促していく。							



庄和地区 7

事業名 テーマ	しょうわ塾 ①「簡単ロゼット作り&生演奏deヨガ」 ②「グラウンドゴルフ」 ③「星空教室」		対 象	①成人女性 ②成人一般 ③小学校高学年以上		定員	① 15人 ② 60人 ③ 20人
ね ら い	生涯学習市民推進員との共催で実施する。地域における生涯学習の推進を図るために、地域住民に多様な学習機会を提供するとともに新たな事業内容や学習方法などを開発する。						
協力機関 及び団体	生涯学習市民推進員		特 色 位置づけ	成人の学習機 会の充実 多様な学習機 会の提供		SDG'Sの 目標No	3・4・11・17
会 場	①正風館 講義室1.2 ②庄和総合公園 多目的広場 ③庄和南公民館 会議室1.2		教 材 資料等	①レジュメ ③レジュメ			
実施ま での経 過	①3月上旬 2月1日 ②3月 4月1日 ③6月下旬 10月1日	①打ち合わせ 公民館だより発行 ②打ち合わせ 公民館だより発行 ③打ち合わせ 公民館だより発行	PR方法	①公民館だより2月号 ②公民館だより6・8月号 ③公民館だより12・2月号 その他毎回ポスター・チラシ配架など			
			受付方法	①2/10～電話または窓口で受け付け ②4/10～電話または窓口で受け付け ③11/24～電話または窓口で受け付け			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
4月24日(月)	10:00～12:00	ロゼット作成後ヴィオリラ 演奏でヨガをする	講義 体験	0	16	16	coco..luana鈴木 さくら 演奏 栗岡 一矛
5月22日(月)	10:00～12:00	グラウンドゴルフ	体験	31	21	52	いきがい大学校友会 ふれあい大学校友会
12月16日(土)	17:00～16:30	天体や星座に関する講 座	講義	4	12	16	長谷川 清一
3回	5時間30分			35	49	84	
企画運営上 の 工 夫	・生涯学習市民推進員と共に企画運営を行う。 ①庄和地区の講師を依頼する②普段より活動している愛好会に講師となってもら。成人以上を対象とし地域住民の交流と健康増進を期待する③講話だけではなく、星座早見盤の使い方や月球儀を用いて、星空観察の仕方の解説なども行った。						
成 果 参 加 者 の 声 な ど	①「ロゼット作りは楽しく、生演奏はすごく良かった」、「ヨガで体が少しやわらかくなった気がする」など内容すべてが参加者にとって良かった。 ②初心者からベテランの方まで幅広い参加者がいた。 初めて体験された方は「今後も続けたい」や「ぜひ、このような講座を希望したい」など大変気に入っていただけた。 ③「子供に自分の町から見える星を見せたかった」「ふたご座流星群が近かったから」などの動機で参加してくれた人がいました。講義はわかりやすかったという声が多かったが、外に出て実際の星が見られなかったことを残念だとする声が多かった。						
課題と展望	①今後も生涯学習市民推進員と協力しながら、学習機会を提供していきたい。②正風館の講座として、運動の講座が少ない為、今後も定期的に実施を検討していきたい。③駐車場に天体望遠鏡をセットしたが、天候の都合で屋外での観察はできなかったのが悔やまれる。実際に星を見たかったとの声が多く、次回に期待したい。公民館の備品としての天体望遠鏡の取り扱いについて、職員、あるいはスタッフの技術、知識の継承が課題である。						

事業名 テーマ	教養講座		対 象	一般	定員	20名	
ね ら い	地域住民の声や社会情勢を鑑みて、一般成人の学習ニーズに対応したテーマを年代に合わせて実施する。						
協力機関 及び団体	水引工芸さすいクラブ		特 色 位置づけ	多様な学習機会の提供 成人の学習機会の充実	SDGs の目標 No	4・17	
会 場	正風館 会議室2・3		教 材 資料等	特になし			
実施までの経過	11月 12月1日 12月11日～ 1月31日 2月24日	講師団体と打ち合わせ 公民館だより12月号掲載 講座受付開始 講座実施	PR方法	公民館だより12月号 ポスター、チラシ配架			
			受付方法	12月11日(月)から窓口または電話 で受付け			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計		合計
2月24日(土)	10:00～12:00	「水引でお花のフレームを作ろう!!」	体験	0	19	19	水引工芸さすいクラブ
1回	2時間			0	19	19	
企画運営 上の工夫	・普段はなじみの少ない「水引工芸」を参加者に体験していただく。 ・水引工芸の団体から会員が減っていると相談があったため、会員増加を期待する。 ・水引の中では初心者でも作りやすい難易度の「お花のフレーム」を作成する。						
成 果 参加者の 声 など	当初は15名の定員と予定していたが、すぐに定員に達したため枠を増やして20名まで募集したが、それでもすぐに埋まってしまった。 参加者からは「とても楽しくできました。教えてくださる人が多くいて良かった」や「最初ではできるか不安だったけど完成できた」など体験できたことを喜ぶ声があった半面、「むずかしい」や「不器用で苦労した」などの結び方を覚えるのに苦労した方もいた。						
課題と展望	講師と相談して「お花のフレーム」を作成したが、基本の「あわじ結び」自体が難しく、想定より習得まで時間がかかってしまい時間内に終わらない方が数名いた。 今後は、改めて難易度を協議したうえで教養講座の内容を検討していきたい。						



事業名 テーマ	健康講座「パドル体操で身も心も健康に」		対象	一般		定員	各回20名	
ねらい	地域住民の健康に関する学習要求に対応して、健康の維持管理に役立つ知識や方法を習得する。							
協力機関 及び団体	NPO法人パドルジャークス体操協会		特色 位置づけ	健康講座		SDGs の目標No.	4.17	
会場	正風館 多目的室1.2		教材 資料等	パドル(講師持参)				
実施までの経過	8月 9月下旬 10月1日	打ち合わせ、依頼 ポスター、チラシ配架 公民館だより10月号掲載 受付開始	PR方法	公民館だより10月号 ポスター、チラシ配架				
	10月10日		受付方法	10月10日(火)から窓口または電話 で受付				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
11月30日(木)	13:30~15:30	パドル体操	講義・ 実習	1	15	16	NPO法人パドルジャークス体操協会 及川 優子	
12月7日(木)	13:30~15:30	パドル体操 	講義・ 実習	1	13	14	NPO法人パドルジャークス体操協会 及川 優子	
2回	2時間			2	28	30		
企画運営上の工夫	・パドル体操とはどういうものかをポスターやチラシで紹介し、実物のパドルを正風館に展示した。 ・コロナ後の運動不足を解消するため、軽い運動を行い健康増進に寄与する。 ・高齢者でも無理なく、気軽に参加できることを説明する。							
成果 参加者の声など	今後もパドル体操を継続したいという参加者により、サークルとして活動していく予定となった。 また、「音楽とともにリズムカルで良かった」「身体だけでなく頭の体操もできた」「先生がユーモアたっぷりだととても楽しかった」などの声をいただいた。							
課題と展望	来年度も、健康維持に役立つ知識や方法を習得する体験ができるような健康講座を行っていきたい。							

事業名 テーマ	利用者のつどい		対 象	公民館利用者		定 員	定めず
ね ら い	公民館の役割や規則を理解して頂き、有意義で円滑な公民館の利用方法を浸透させる。また、利用者との意見交換が出来る場を提供し、利用者同士の交流を図る。						
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ	市民の声を生かす仕組みづくり			
会 場	庄和市民センター正風館 会議室1～3		教 材 資 料 等	会議資料	SDGs の目標 No	4,11	
実施までの経過	12月1日(金) 12月9日(土)～ 1月27日(土)	公民館だより12月号掲載 ポスター掲示、利用者団体 へチラシ配布 参加団体募集開始 当日(準備を含む)	PR方法	公民館だより12月号 ポスター掲示 利用団体へチラシを配布			
			受付方法	12月9日(土)から令和6年1月26日 (金)までに窓口または電話で受付			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男	女	合計	
				計	計		
1月27日(土)	10:30～11:35	・公民館の利用について ・公民館利用団体票について ・公民館へのご意見・ご要望について ・意見交換 	説明 説明 説明 意見交換	10	42	52	公民館職員 公民館職員 公民館職員 公民館職員・参加者
1回	1時間5分			10	42	52	
企画運営上の工夫	・参加人数を把握するため、参加団体を事前申込制にする。 ・公民館利用団体へ利用の仕方と今後の予定を再確認した。 ・ポスター掲示や日々の利用団体へチラシを配布し、これから利用する方や利用団体へ開催の広報に努める。 ・人権研修会と同時に開催する。						
成 果 参加者の声など	例年よりも多い52名の方に参加いただいた。参加者とも改めて利用の仕方や今後の予定を共有できて再確認して良い機会となった。						
課題と展望	今後も利用者と公民館側との意見交換が出来る場として提供していきたい。 また、沢山の方に参加してもらえるよう検討をしていきたい。						

事業名 テーマ	人権研修会	対象	公民館利用者	定員	定めず	
ねらい	人権問題について学習し、正しい理解と認識を深めることを目的とする。					
協力機関 及び団体		特色 位置づけ	学習課題に対応した事業の展開 (人権)			
会場	庄和市民センター正風館 会議室1～3	教材 資料等	人権啓発DVD「日 常の人権Ⅱ 一気 づきから行動へー」	SDGs の目標 No	4,10,11, 16	
実施までの経過	12月1日(金) 12月9(土)～ 1月27日(土)	公民館だより12月号掲載 ポスター掲示 利用団体へチラシ配布 参加団体募集開始 当日(準備を含む)	PR方法	公民館だより12月号 ポスター掲示 利用団体へチラシを配布		
			受付方法	12月9日(土)から令和6年1月26日 (金)までに窓口または電話で受付		
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男	女	
			計	計		
1月27日(土)	10:00～10:30	人権について研修 人権啓発DVD 「日常の人権Ⅱ 一気づきから行動へー」	鑑賞	10	42	52
1回	30分			10	42	52
企画運営上の工夫	- 参加人数を把握するため、参加団体を事前申込制にする。 - 人権啓発DVDを上映し、人権についての理解を深める。 - ポスター掲示や日々の利用団体へチラシを配布し、これから利用する方や利用団体へ開催の広報に努める。 - 参加者には人権啓発品を配布する。 - 利用者のつどいと同時に開催する。					
成果 参加者の声など	例年よりも多い52名の方に参加いただいた。外国人や障がい者、部落、インターネットによる人権侵害等の差別問題を取り上げたDVDを上映した。					
課題と展望	今後も人権についての正しい知識を学び、身近な問題であることを理解してもらうことで、さらなる啓発に努めたい。					

事業名 テーマ	Showa キッズぴあ		対象	小学生 とその保護者		定員	定めず
ねらい	学習要求に対応した多彩な学習機会を提供するため、子どもの興味関心に基づく内容を取り上げ、青少年教育の充実を図る。						
協力機関 及び団体	小松久子 生涯学習市民推進員		特色 位置づけ	青少年健全育成 事業		SDGs の目 標No.	4・5・11・ 16・17
会場	庄和市民センター正風館		教材 資料等	講師持参			
実施までの経過	6月～10月	事業内容検討	PR方法	・ポスター・チラシ・公民館ブログ ・公民館だより(12月号・2月号) ・安心安全情報メール ・各公共施設にポスター等を配架			
	8月1日	公民館だよりでボランティア募集					
	10月25日 (水)	第1回調整会議	受付方法	事前受付または当日受付 参加費 無料			
	12月1日	公民館だより掲載					
	12月6日(水)	第2回調整会議					
1月9日	地区内小学校でチラシ配布						
2月1日	公民館だより掲載						
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職 名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計		
2月11日(日)	13:00～15:30	君だけのプラ板ストラップ作りに挑戦！	工作			134	公民館職員
 		くるくるレインボー	工作			55	くるくるレインボー春日部支部
		やってみよう！バルーン・アート	工作			117	庄和チャレンジ隊
		丸いシールを貼って作ろう！	工作			66	山本 はる美
		みんな集まれ！お話し会	視聴			25	庄和おはなしボランティア
		楽しくカラダを動かそう!!キッズヨガ	運動			29	coco..luana.
		わくわく！子ども広場！	遊戯			150	年少リーダー
		工作あり!ゲームあり!クイズあり!おもしろ漢字で遊ぼう	クイズゲーム			20	武藤 修
1回	2時間30分					596	
企画運営上の工夫	・子どもを対象にした催し物をしてくれる人をできるだけ多く募集し、多彩な体験コーナーが作れるようにした。 ・参加者の費用負担が発生しないように努めた。 ・館の内外にイラスト入りの看板、のぼり旗などを配置し、周知を図るとともに、当日は入口にバルーンアーチを置いてもらい、会場内に音楽を流すなど、雰囲気づくりをした。 ・ボランティアにとっても喜びが得られるように配慮し、継続した活動に繋げられるように促した。						
成果 参加者の声など	参加者数は前回比120%で多くの親子で賑わった。「たくさんのコーナーがあり、またらい年もきたいです。おしえてくれる人がやさしかったです!!」「子ども達のうれしそうな笑顔がステキでした。」などの感想をいただいた。 三連休の中日に実施したため、スタッフ側も、参加者側も参加しづらいという意見もあった。						
課題と展望	子ども、保護者、地域の方が一堂に会して交流できる催しは貴重で、地域の絆を深める良い機会となった。ホールの催しがあっても良いのではないかとのご意見を頂いており、実現に向けて企画したい。連休中日の開催は避けて実施したい。						

事業名 テーマ	学校開放講座 「心も体も健康に！歌とレクで楽しく健康増進」		対象	一般	定員	30人	
ねらい	庄和地区北部の住民の学習機会を作るため、北部の学校施設を使用して事業を行い、地域住民同士の交流を図る。						
協力機関 及び団体	江戸川小中学校		特色 位置づけ	学社連携事業	SDGsの 目標No	3.4.17	
会場	江戸川小中学校 ランチルーム		教材 資料等	講師持参			
実施までの経過	12月中旬 1月11日	学校との打合せ 会場下見・講師折衝	PR方法	公民館だより2月号掲載 ポスター掲示及びチラシ配布			
	2月1日 2月3日～ 3月6日	公民館だより2月号掲載 参加受付開始 実施	受付方法	直接または電話で正風館にて受付			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男	女		合計
3月6日(水)	10:00～12:00	笑って健幸、歌って健口、脳トレ体操で免疫力アップ 	歌と体操 	1	23	24	日本レクリエーション協会公認レクリエーションコーディネーター・福祉レクリエーションワーカー 山森 澄子 楽器演奏 栗岡 一矛
1回	1時間30分			1	23	24	
企画運営上の工夫	・庄和北部地域の住民の利便性を図るため、北部地域の施設を借用した。 ・駅周辺や、南部地域の方にも参加いただけるよう、過去に実施した人気の高い内容を参考として企画した。 ・参加者が互いに交流できるようなプログラムとした。 ・次年度オープン予定の(仮称)「大風文化交流センター」での自主活動を展望する。 ・庄和地区内の公共施設、駅にポスターの掲示、チラシの配架を行う。特に16号以北の自治会にポスターの掲示を依頼した。 ・アンケートに居住地域を問う質問を設け、北部地区の人の参加度合いを明らかにする。						
成果 参加者の声など	江戸川小中学校の施設をお借りして事業を行い、広報活動は、北部地域を重点的に行った。ある自治会は、回覧板でポスターを回してくれた。それらの成果もあつてか、参加者アンケートによれば、24名のうち、80歳以上の人が50%、国道16号以北の住民は19名、76%を占めた。北部地域の高齢者に多くの参加をいただくことができた。感想でも、「交通の便としてよかった」「近い所でありがとう」の声もあつた。参加動機では、「人と接したかったので」「同年代と会う事が少ないので」「皆さんと喜び合える事」という意見もあり、北部地域でのコミュニティー活動を活発化させる必要性を感じさせるものもあつた。 その他講座内容では、「久しぶりに体を動かし、歌を歌い、本当に楽しかったです」「バラエティーに富んだ内容で楽しかった」「とても楽しくて健康に役立つ話をしてくれたので大変良かった」などの声があつた。						
課題と展望	本来、「学校開放講座」としては、「学校の持つ教育力をもって地域と学校が連携し、地域全体の教育力を上げるとともに地域に開かれた学校づくりを推進する」ことが目標とされるが、そもそも公民館の狙いとしては、公民館から遠い地域の人との交流と学習を保障することにあつた。そのため、学校側にはあくまでも施設提供のみを依頼し、「公民館出張講座」の形として行った。今回、北部地域の要求、課題の一端を知ることができたので、新しくできる交流施設の利用を通じて、地域のつながりを深めることが求められていると感じた。また、内容によっては多くの人に集まっていたことも分かったので、今後も地域のニーズに応じた事業を充実していきたい。						

事業名 テーマ	ステップアップギャラリー		対 象	一般	定員	72点	
ね ら い	階段ギャラリーを活用し、公民館利用団体の学習成果を発表する場を提供する。						
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ	学習成果の発表	SDGs の目 標No.	4.11	
会 場	庄和市民センター正風館階段		教 材 資 料 等				
実施ま での 経 過	R4年12月	公民館だよりにて次年度 展示希望者を募集	PR方法	庄和地区公民館だより掲載			
	R5年4月～ R6年2月の 偶数月	公民館だより掲載	受付方法	窓口			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職 名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計		合計
4月・5月	2か月間	個人・島村雄一				6	
6月	1か月間	水引工芸さすいクラブ				6	
7月	1か月間	彩風会				6	
8月	1か月間	精墨会				6	
9月	1か月間	蒼樹会				6	
10月	1か月間	精墨会				6	
11月	1か月間	ファミリーキルト				6	
12月	1か月間	精墨会				6	
1月	1か月間	文化連合会写真部				6	
2月	1か月間	大風絵手紙の会				6	
3月	1か月間	精墨会				6	
11回	12か月					66	
企画運営上 の 工 夫	公民館だよりやポスター・チラシにて展示希望団体を募集する。 窓口などで積極的に呼びかけを行う。 作品名・作者名のプレートを取り付ける。 作品に照明をあてて見えやすくする。 絵画、手工芸、絵手紙など様々な種類の展示を行う。						
成 果 参 加 者 の 声 な ど	作品鑑賞した利用者から「素晴らしい」などの声があった。 作品鑑賞が利用者交流のきっかけとなった。						
課題と展望	同じ団体に何度も掲示依頼をすることがあったため、一団体の負担を減らすためにも、まだ参加したことのない団体に積極的に呼びかけを行っていくことが事業の盛り上げにつながると考えられる。窓口等で実践していくこととする。						

庄和地区 15

事業名 テーマ	庄和地区芸能大会ふれあいステージ		対 象	概ね 高齢者		定員	502名
ね ら い	芸能を通じて、会員及び一般市民の福祉の増進を図る。						
協力機関 及び団体	庄和地区いきいきクラブ連合会		特 色 位置づけ	高齢者福祉事業		SDGs の目 標No	3・4・11・ 17
会 場	庄和市民センター正風館 大ホール		教 材 資料等	プログラム			
実施ま での経 過	8月 10月1日 10月1日～ 11月1日 12月1日 1月11日 2月14日 2月15日	打合せ、共催承認 公民館だより10月号掲載 参加団体募集 公民館だより12月号掲載 舞台業者との打合せ 前日準備 実施日	PR方法	公民館だより 10月号・12月号・2月号 ポスター掲示・チラシ配布			
			受付 方法	当日、直接会場にて受付			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職 名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
2月15日(木)	9:00～12:00	開会式 各クラブの発表 一般参加団体の発表 閉会式	発表 鑑賞	50	180	230	庄和地区いきいきク ラブ連合会
1回	3時間			50	180	230	
企画運営上 の工夫	・高齢者の福祉増進を図るため、日頃の活動の成果を発表し、会員同士の交流と親睦の機会とする。 ・一般市民にも広く参加を呼びかけ、地域住民との交流を図る。						
成 果 参加者の 声 など	参加者や来場者共に好評だった。						
課題と展望	庄和地区いきいきクラブ連合会と連携を図りながら事業展開を続けていく。						

事業名 テーマ	春日部市文化連合会庄和 文化祭		対 象	一般	定員	特になし	
ね ら い	庄和地区で活動している春日部市文化連合会庄和会員の日頃の活動の成果を発表し、文化・芸術の向上を目指すとともに、参加団体相互の情報交換及び交流を図る。						
協力機関 及び団体	春日部市文化連合会庄和		特 色 位置づけ				
会 場	庄和市民センター正風館 全館		教 材 資料等	プログラム 参加サークルの作品			
実施ま での 経 過	8月10日(木) 8月23日(水)	開催申請 開催決定	PR方法	公民館だより10月号、市ホームページにて開催の周知			
			受付 方法				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職 名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
11月4日(土)	10:00～16:00	開会式 舞台発表 作品の展示・実技コーナー チャリティーバザー	鑑賞 ・ 観覧 ・ 体験				春日部市文化連合会 庄和
11月5日(日)	10:00～16:00	舞台発表 作品の展示・実技コーナー チャリティーバザー 閉会式					
2回	12時間						
企画運営上 の 工 夫	舞台発表、展示発表の二つに分かれ、体験コーナー、お楽しみ抽選会などを実施した。						
成 果 参加者の 声 な ど	4年ぶりの開催で参加団体は少なかったが充実した2日間だった。						
課題と展望	役員、参加者の高齢化等を理由として、代表者より今回の開催で最後とする、との報告があった。令和6年度以降は開催をしない。						

庄和地区 17

事業名 テーマ		正風館コンサート		対象	一般		定員	502人	
ねらい		豊かな音楽に触れることで精神の浄化を図り、もって庄和地区の芸術振興と情操教育に寄与する。							
協力機関 及び団体		生涯学習市民推進員		特色 位置づけ	多様な学習機会の提供				
会場		庄和市民センター正風館 大ホール		教材 資料等	プログラム				
実施までの経過	3月	生涯学習市民推進員と 打ち合わせ 講師依頼 ポスター・チラシ配架 公民館だより6号掲載 整理券配布 実施	PR方法	公民館だより6月号 ポスター・チラシ配架など					
	5月下旬			受付方法	正風館窓口で整理券配布 当日座席に余裕があれば先着順に 定員まで入場可				
6月1日(木)									
6月10日(土)									
7月16日(日)									
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職 名 氏 名		
回数	総時間数			男 計	女 計	合計			
7月16日(日)	13:30～15:30	正風館コンサート ～地元春日部の音楽家 による歌とピアノをお届け します～	鑑賞	65	288	353	飯島光葉(ソプラノ) 浅井美保(メゾソプラノ) 磯野好美(ピアノ)		
									
1回	2時間00分			65	288	353			
企画運営上の工夫		・令和4年度正風館音楽祭に出演した庄和地区出身の演者を起用したほか、演奏者をすべて春日部市出身とした。 ・クラシックから童謡まで、幅広い選曲でなじみ深い曲を取り上げた。 ・子どもから大人まで参加できるように日曜日に実施した。 ・事前に整理券を発券して入場を管理した。 ・影アナウンスによる進行と、受付などを生涯学習市民推進員に依頼をした。							
成果参加者の声など		コンサートイベントとしては近年まれにみる盛況ぶりであった。 以下参加者アンケートより ・正風館で本物の歌手を招いて暑さも忘れられ、とても心も清められました。 ・日本の曲、外国の曲、オペラとピアノ、4つを楽しめて良かった。 ・地元出身の素晴らしい音楽家の方たちのことを知っていただけ、かつ音楽のすばらしさ、楽しさを多くの人に知っていただく、よい機会でした。 ・影アナが全く聞こえなかった。 ・会場がとても暑く、演奏に集中できない程でした。							
課題と展望		構成、演奏にはおおむね好評をいただいたが、会場の暑さと、影アナマイク音量についてのクレームが多かった。施設とスタッフ、技術の問題はいかんともしがたく、今後の開催時期や運営方法に課題があると感じている。 整理券は全部で560枚配布し、62%の回収率であった。整理券の配布枚数についての今後の参考としたい。 庄和地区の生涯学習市民推進員には、演奏者の人選から当日の運営まで尽力していただいたが、それに伴う経費面でのサポートが十分とは言えず、協力者個人の負担を軽減するための予算措置などを再考したい。							

事業名 テーマ	教養講座(庄和南)		対象	事業ごとに設定		定員	事業ごとに設定	
ねらい	地域住民の声や社会情勢を鑑みて、地域住民の学習ニーズに対応したテーマを、年代に合わせて実施する。							
協力機関 及び団体	鈴木さくら、桃園幼稚園長内田豊信、ソフトバンクイオンモール春日部店 宝そばクラブ、折り紙きんぎょ		特色 位置づけ	民間事業者と連携した事業を含む		SDGsの目標No	4	
会場	ペンケース、工作教室、スマホ講習会、 正月飾り:学習室1・2 手打ちそば講習会:調理室		教材 資料等	ペン、工作、折り紙:材料 スマホ:スマートフォンレジメ そば:レシピ				
実施までの経過	2月・4月 5月 7月・8月 8月・9月 7月・9月	ペン:講師依頼・打合せ 工作:講師依頼・打合せ スマホ:講師依頼・打合せ そば:講師依頼・打合せ 折り紙:講師依頼・打合せ	PR方法	公民館だよりに募集記事掲載 ポスター・チラシ				
			受付方法	各事業ごとに、先着順に、窓口または電話で受け付け				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
6月24日(土)	10:00～11:30	貼るだけ簡単 ペンケースを作ろう	体験	2	17	19	鈴木 さくら	
7月29日(土)	10:00～11:30	夏休み子ども工作教室 チャレンジ折り紙	実習	2	11	13	桃園幼稚園長 内田豊信	
10月26日(水)	10:00～12:00 13:30～15:30	スマートフォン体験 講習会	体験	4 3	9 10	13 13	ソフトバンクイオンモール店の派遣2名	
11月4日(土)	9:00～12:30	手打ちそば講習会	実習	9	5	14	小谷中 三男 船塚 實	
12月4日(月)	10:00～12:00	折り紙でつくろう！ 正月飾り	実習	0	19	19	神宮寺せつ子	
6回	12時間30分			20	71	91		
企画運営上の工夫	ペンケース:針も糸も使わず両面テープと接着剤で作成した。 工作教室:夏休みの挑戦として、一人で考え完成を目指す機会を提供した。 スマホ:民間事業者と連携し、0予算事業として、同じ内容で午前と午後を実施した。 そば打ち:そば打ちに必要な釜や道具を活用し、利用クラブの協力を得て実施した。 折り紙:完成した折り鶴をお盆に乗せ、作品として飾ることができるように工夫した。							
成果 参加者の声など	ペンケース:子どもから大人まで楽しめた。 工作教室:親子のコミュニケーションツールであることが確認できた。 スマホ:アンケート結果では、1人を除いて、役に立ったとする回答が得られた。 そば打ち:協力者の支援もあり、スムーズな進行と高い理解度・満足度が得られた。 折り紙:頭の体操になった、勉強になった、難しかった等、苦戦した。							
課題と展望	ペンケース:講師のほかに職員が二人いるとよい。 工作教室:広報にさらなる工夫が必要である。 スマホ:内容面、設備面で事前打ち合わせの大切さを改めて痛感した。 そば打ち:今後も施設・設備を活用した事業の実施を検討していきたい。 折り紙:頭の体操になったと好評のため、手作業の講座を継続したい。							

事業名 テーマ	庄和南鑑賞会 ①「フラメンコLive 庄和南」 ②「春待ちコンサート」		対象	一般		定員	①60名 ②60名	
ねらい	公民館利用団体の発表の機会を作るとともに、地域住民にフラメンコを体感、そして演奏を楽しんでもらい相互の交流を深める。さらに公民館を利用するきっかけを提供するものとする。							
協力機関 及び団体	①フラメンコ・ロサ、Feliz、カルメン ②楽しい会、塙 未羽、Smile		特色 位置づけ	成人の学習機会 の充実		SDGsの 目標No	4	
会場	庄和南公民館 多目的ホール		教材 資料等					
実施までの経過	4月14日(金) 6月30日(金)	「フラメンコLive」 日程・内容打ち合わせ リハーサル	PR方法	公民館だよりに予告・募集記事掲載、ポスター・チラシ、公民館ブログ 安心安全メール、ツイッター発信				
	10月15日(日) 1月14日(日)	「春待ちコンサート」 日程・内容打ち合わせ リハーサル	受付方法	各事業ごとに、先着順に、窓口または電話で受け付け				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
7月21日(金)	14:00～15:30	「フラメンコLIVE」 3グループによるフラメンコの実演及び生演奏	鑑賞	6	56	62	フラメンコ・ロサ Feliz カルメン	
3月12日(日)	13:30～15:00	「春待ちコンサート」 出演者3者による三部構成のコンサート	鑑賞	11	68	79	楽しい会 塙 未羽 Smile	
2回	5時間10分			17	124	141		
企画運営上の工夫	「フラメンコLIVE」:ライブで鑑賞する機会の少ないフラメンコが出演者の御協力でダンスと歌と演奏全て生で行えた。 「春待ちコンサート」:幅広い年代の参加者が最後まで興味を持って聴いてもらえるよう、それぞれ持ち味(楽器、演出等)の違う出演者に協力を依頼した。							
成果参加者の声など	「フラメンコLIVE」:定員を超える入場者があり、皆さん満足して帰られた。 また、CMで流れた曲などなじみのある選曲もあり、出演者と観客の方が一体感を持てた。 「春待ちコンサート」:参加者からは素敵なコンサートだった。来年も実施してほしい。来られて良かった。などおおむね良好な感想をいただいた。							
課題と展望	「フラメンコLIVE」:次回の開催を要望している方たちがいた外、一部意見としてジャズコンサート等の開催を希望する方がいた。 「春待ちコンサート」:出演者の依頼方法を検討する。							

庄和地区 2

事業名 テーマ	展示イベント		対象	庄和南公民館 来館者		定員	定めず
ねらい	公民館で活動しているサークルに発表の機会を提供する。また、展示作品の鑑賞を通じて、公民館活動を紹介すると共に、サークル活動への参加の機会とする。						
協力機関 及び団体	新春 書道・絵手紙展の協力団体:ひよこの会、絵手紙きらら、新婦人絵手紙サークル		特色 位置づけ			SDGs の目 標No	4・11
会場	1階ロビー		教材 資料等				
実施までの経過	8・9月 10月21日(土)	「新春 書道・絵手紙展」 協力団体の選定・相談 事業計画書、展示協力依頼書の作成・起案	PR方法	公民館だより12月号に案内記事掲載 公民館ブログで案内			
	11月 12月18日(月) 12/19～12/24 2月1日(木)	各協力団体との打合せ 展示パネル等会場設営 作品搬入・展示 作品搬出・片付け	受付方法	—			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
1月4日(木) ～1月31日(水)		「新春 書道・絵手紙展」	鑑賞	 			
4月25日(火) ～6月27日(火)		《ガラスケース内展示》 なごみ会「陶芸作品展」	鑑賞				
12月5日(火) ～1月30日(火)		なごみ会・他 「春日部市展入選作品展」	鑑賞				
3回	—			—	—	—	
企画運営上の工夫	新型コロナウイルス感染防止のため中止していた、公民館主催事業「新春 書道・絵手紙展」を3年ぶりに開催した。新春にふさわしい展示となるように、書道と絵手紙のサークルに協力を依頼した。展示パネルの設置を一部横向きにして、ロビー利用時の圧迫感をできるだけ少なくするようにした。						
成果 参加者の声など	来館者に作品を鑑賞する機会を、また展示協力者には活動成果を発表する機会を提供することができた。展示期間中、絵手紙をはじめ、作品をじっくり鑑賞している姿が見受けられた。						
課題と展望	公民館活動の成果発表の場として、「ガラスケース内展示」が活用されるよう、利用団体への普及・啓発に努めたい。また、公民館活動に興味をもってもらう機会として、今後もロビーを利用した展示イベントを実施していきたい。						

庄和地区 21

事業名 テーマ	教養講座「庄和南将棋の広場」		対 象	一般		定 員	各回10名	
ね ら い	年末年始休館日を除く毎週水曜を開放日とし、気軽に誰でも参加でき、将棋を学び楽しむことのできる場とする。また、出会いの場を提供することにより、共通の趣味を持たれた方たちによるサークル活動に発展することを目指す。							
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ			SDGs の目 標No	4・11	
会 場	庄和南公民館 学習室(2)		教 材 資 料 等	将棋用具一式				
実施ま での 経 過	前年度より継続		PR方法	公民館だより掲載 館内にポスター・チラシで告知				
			受付方法	当日先着順10名				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
4月5,12,19,26	9:15～12:00		対局	30	0	30		
5月3,10,17,24,31	9:15～12:00			30	0	30		
6月7,14,21,28	9:15～12:00			37	0	37		
7月5,12,19,26	9:15～12:00			39	0	39		
8月2,9,16,23,30	9:15～12:00			41	0	41		
9月6,13,20,27	9:15～12:00			27	0	27		
10月4,11,18,25	9:15～12:00			32	0	32		
11月1,8,15,22,29	9:15～12:00			32	0	32		
12月6,13,20,27	9:15～12:00			22	0	22		
1月10,17,24,31	9:15～12:00			18	0	18		
2月7,14,21,28	9:15～12:00			27	0	27		
3月6,13,20,27	9:15～12:00			22	0	22		
51回	140時間15分					357		0
企画運営上 の 工 夫	水曜日に利用されていなかった学習室(2)または集会室を活用する。 公民館に保管されている将棋の教具を活用する。							
成 果 参 加 者 の 声 な ど	参加者の半数以上のきっかけが、すでに公民館を利用している家族からのすすめによるものだった。公民館活動が家庭内で話題となり、そのことが新たな利用者につながったことは、有意義なことだと思う。 参加者には、久しぶりにさすことができたこと、仲間もできたことを喜んでいただけた。							
課題と展望	成人男性の公民館利用の場を確保し、さらに今後、将棋愛好者による自主活動に発展してくれることを期待して、事業の実施と自主活動移行への働きかけを継続していきたい。							

事業名 テーマ	公民館だより「しょうわ」発行		対 象	庄和地区内		定 員	
ね ら い	公民館事業のPRや報告、地区内社会教育団体の活動PR及び地域情報を庄和地区内の住民に提供する。						
協力機関 及び団体	庄和地区内自治会		特 色 位置づけ	学習情報の提供		SDGs の目 標No	4.11
会 場			教 材 資 料 等				
実施までの経過	2ヶ月前～ 1ヶ月前～ 前月下旬 隔月1日 (偶数月)		原稿調整 作成・編集 校正・印刷 発行	PR方法		掲載を希望する団体は、公民館だより掲載依頼書を前月1日までに提出。	
				受付方法			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職 名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
隔月1日		発行(公民館事業の広報) 庄和地区内約13,500部配布					
							
6回							
企画運営上の工夫	事業名称などのタイトルを大きく掲載し、表記の仕方を統一して見やすいレイアウトとした。 また、イラストを作成している団体に声をかけてイラストを提供をしてもらった。						
成果参加者の声など	事業参加者へのアンケートから、公民館だよりを見て申し込みや来館される方が多く、地域住民の情報収集の手段となっているよう。						
課題と展望	今後も視覚的にわかりやすく、興味を持ってもらえるような紙面作成を心がけていきたい。						